

2026年度

シラバス



学校法人 湯梨浜学園

湯梨浜学園高等学校

〒689-0727 鳥取県東伯郡湯梨浜町田畑3-2-1

TEL (0858)48-6810

FAX (0858)48-6813

シラバス

教科名	国語	科目名	論理国語・現代文演習	単位数	3		
対象	高校3年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別		
学習の到達目標	① 大学入試に対応できる現代文の能力を身につける。 ② ものの見方・考え方を深め、高度な読解力・思考力を磨き、他者に表現する力を身につける。 ③ 物事に対する視野を広げ、自身の人生や現代社会を豊かにする態度を身につける。						
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストの取り組みで評価。 ② 思考・判断・表現…授業態度、発表用資料作成、課題提出物などで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業への取り組み方、自己評価シートなどで評価。						
学習方法	① 様々な教材を用いた受験指導を行い、論理的な思考と確かな知識を付ける。 ② 学校独自教材や、型にはまらない多角的な国語へのアプローチ方法で生徒の発想と積極性を育てる。 ③ 他者に自分の考えや思いを、正しく分かりやすく伝えることを目指す取り組みを行う。						
教科書・教材等	大学入試対策自作テキスト 実戦問題バックⅤ（駿台） 共通テスト対策実力完成直前演習（Learn-S） など						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	9	10	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	12
5	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	9	11	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	12
6	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	12	12	共通テスト試験対策	大学入試共通テスト試験試験直前対策を行う。	9
7	問題演習応用力養成 国公立二次・私大対策	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い応用力をつける。	9	1	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	大学入試共通テスト試験試験直前対策を行う。	9
8	問題演習応用力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い応用力をつける。	3	2			
9	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野をとりあげ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力をつける。また、記述対策も併せて行う。	12	3			

備考 大学別記述対策・小論文対策等、個人に応じた対策を定期的に行う。

教科名	国語	科目名	古典探究	単位数	2		
対象	高校3年	履修形態	必修	授業形態	習熟度別		
学習の到達目標	① 大学入試に対応できる古典の能力を身につける。 ② ものの見方・考え方を深め、高度な読解力・思考力を磨き、他者に表現する力を身につける。 ③ 物事に対する視野を広げ、自身の人生や現代社会を豊かにする態度を身につける。						
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、単元別テストの取り組みで評価。 ② 思考・判断・表現…授業態度、発表用資料作成、課題提出物などで評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業への取り組み方、自己評価シートなどで評価。						
学習方法	① 様々な教材を用いた受験指導を行い、論理的な思考と確かな知識を付ける。 ② 学校独自教材や、型にはまらない多角的な国語へのアプローチ方法で生徒の発想と積極性を育てる。 ③ 他者に自分の考えや思いを、正しく分かりやすく伝えることを目指す取り組みを行う。						
教科書・教材等	大学入試対策自作テキスト 実戦問題バックⅤ（駿台） 共通テスト対策実力完成直前演習（Learn-S） など						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野を取り上げ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力を付ける。また、記述対策も併せて行っていく。	6	10	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	実践力を付けるために、近年の大学入試で出題されたテーマ・分野を用いて、主に大学入試共通テストを中心とした入試対策を行う。また記述対策も併せて行う。	8
5	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野を取り上げ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力を付ける。また、記述対策も併せて行っていく。	6	11	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	実践力を付けるために、近年の大学入試で出題されたテーマ・分野を用いて、主に大学入試共通テストを中心とした入試対策を行う。また記述対策も併せて行う。	8
6	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野を取り上げ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力を付ける。また、記述対策も併せて行っていく。	8	12	共通テスト試験対策	大学入試共通テスト直前対策を行う。	6
7	問題演習応用力養成 国公立二次・私大対策	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い応用力をつける。	6	1	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	大学入試共通テスト直前対策を行う。	6
8	問題演習応用力養成 国公立二次・私大対策	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い応用力をつける。	2	2			
9	共通テスト試験対策 国公立二次・私大対策	入試頻出内容・分野を取り上げ、主に大学入試共通テスト対策の演習を行う。適宜教科書の読解も行い、入試基礎力を付ける。また、記述対策も併せて行っていく。	8	3			

備考 大学別記述対策等、個人に応じた対策を定期的に行う。

教 科 名	地理歴史	科 目 名	世界史探究・世界史演習	単 位 数	2		
対 象	高校3年	履 修 形 態	選択	授 業 形 態	一斉		
学 習 の 到達 目 標	① 世界の歴史を日本の歴史と関連付け、世界の構造や成り立ちを歴史的視野から理解しかつ考察する力を養う。 ② 民主的、平和的な国家の一員としての自覚をもつ。 ③ 国際社会の中で、他国（他地域）と協調しながら、主体的に行動する日本人としての資質を培う。 ④ 一・二年次に学習してきた世界史を、大きな流れとして繋げ、大学入学試験に対応できる力を身につける。						
評 価 の 観 点 評 価 方 法	① 知識・技能…定期考査、ワークシート、ノートをもとに評価する。 ② 思考・判断・表現…授業内での態度・発言、定期考査、ワークシートをもとに評価する。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業態度・発表への取り組み方、課題提出物、ワークシートをもとに評価する。						
学 習 方 法	① 教科書記載事項を重視し、熟読をする。 ② 授業で解説や補足説明を受ける。 ③ 問題演習によって復習することにより、知識の定着を図る。 ④ 単元ごとに入試対策を行う。						
教科書・教材等	詳説世界史（山川出版社） 詳説世界史整理ノート（山川出版社） 詳説世界史図録（山川出版） 実力完成直前演習歴史総合,世界史探究（進研学参） 共通テスト実力トレーニング（啓隆社）						
年 間 授 業 計 画							
月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数
4	高校1年次の復習 共通テスト対策 ①産業革命と環大西洋革命 ②イギリスの優位と 欧米国民国家の形成	マーク形式の演習を行う。	6	10	共通テスト対策	マーク形式の演習を行う。	8
5	高校1年次の復習 共通テスト対策 ①アジア諸地域の動揺 ②帝国主義とアジアの 民族運動	マーク形式の演習を行う。	6	11	共通テスト対策	マーク形式の演習を行う。	8
6	高校1年次・2年次の復習 共通テスト対策 ①第一次世界大戦と 世界の変容 ②第二次世界大戦と 新しい国際秩序の形成	マーク形式の演習を行う。	8	12	共通テスト対策	マーク形式の演習を行う。	6
7	共通テスト対策	マーク形式の演習を行う。	6	1	私大・国公立二次試験対策	個別大学対策を行う。	6
8	共通テスト対策	マーク形式の演習を行う。	2	2			
9	共通テスト対策	マーク形式の演習を行う。	8	3			

備考

教科名	地理歴史	科目名	日本史探究・日本史演習	単位数	2		
対象	高校3年	履修形態	選択	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 我が国の歴史の展開を日本史的視野に立って総合的に考察できる。 ② 我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって歴史的思考力を培う。 ③ 国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。						
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…添削課題、定期考査、ワークシートをもとに評価。 ② 思考・判断・技能…授業における発言、課題に対する考察などをもとに評価。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業態度・発表への取り組み方、課題提出物をもとに評価する。						
学習方法	① 教科書・史料集・図録を用い、歴史を考察する基本的な方法を身につける。 ② 提出物で授業の理解度を確認する。 ③ 大学入試の問題演習を行い、受験に必要な知識を身につける。 ④ 史料・グラフを読み取り、仮説が正しいかどうかを自分で判断できるようにする。						
教科書・教材等	詳説日本史（山川出版社） 詳説世界史整理ノート（山川出版社） 詳説日本史図録（山川出版社） 実力完成直前演習歴史総合, 日本史探究（進研学参） 共通テスト実力トレーニング（啓隆社）						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	高校1年次の復習 共通テスト対策 明治時代 大正時代	マーク形式の演習を行う。	6	10	共通テスト対策 現代・テーマ別問題	マーク形式の演習を行う。	8
5	高校1年次の復習 共通テスト対策 昭和時代	マーク形式の演習を行う。	6	11	共通テスト対策 古代～現代	マーク形式の演習を行う。	8
6	高校1年次・2年次の復習 共通テスト対策 昭和時代 平成時代	マーク形式の演習を行う。	8	12	共通テスト対策 資料・図表問題 史料読解問題	マーク形式の演習を行う。	6
7	共通テスト対策 古代～中世・近世	マーク形式の演習を行う。	6	1	私大・国公立二次試験対策	個別大学対策を行う。	6
8	共通テスト対策 古代～近世・近代	マーク形式の演習を行う。	2	2			
9	共通テスト対策 古代～近世・近代	マーク形式の演習を行う。	8	3			

教科名	地理歴史	科目名	地理探究・地理演習	単位数	2		
対象	高校3年	履修形態	選択	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 現代世界の地理的な事象を、主に地誌的に考察し、現代社会の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。 ② 国家、村落・都市、貿易など、歴史の変遷を通して現代社会的な考察力を養う。また、州ごとの地誌を見ながら、それぞれの特色を自然、気候、人種民族、産業など総合的な観点からつかむ。						
評価の観点 評価方法	① 知識・技能…定期考査、ワークシート、ノートをもとに評価する。 ② 思考・判断・表現…授業内での態度・発言、定期考査、ワークシートをもとに評価する。 ③ 主体的学習に取り組む態度…授業態度・発表への取り組み方、課題提出物、ワークシートをもとに評価する。						
学習方法	① 問題演習によって現代世界の課題意識を持ち、地理的な事象について知識の定着を図る。 ② 問題演習を通して、地図帳やデータブック、地理資料を活用し、基礎事項の定着を図る。						
教科書・教材等	地理総合（二宮書店）地理探求（二宮書店）新詳高等地図（帝国書院）共通テスト実力トレーニング（啓隆社） 新編地理資料（とうほう） データブック オブ・ザ・ワールド（二宮書店） 実力完成直前演習地理総合、地理探究（進研学参）						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	対策演習 系統地理分野 地形・気候・災害中心	模擬試験問題の解説の見方、学習の方法を再確認し、得点源に結びつける。 系統地理の単元別対策を行う。 演習を通して不得意な分野・単元を発見し、解説を通して克服する。	6	10	共通テスト対策① 模擬試験演習	問題演習を通して、対策演習で培ったことをいかす。	8
5	対策演習 系統地理分野 工業・農業中心	系統地理の単元別対策を行う。 演習を通して不得意な分野・単元を発見し、解説を通して克服する。 初出の図・グラフに対して、どの部分に着眼点を置けばよいかという判断力を身につける。	6	11	共通テスト対策② 模擬試験・過去問題演習	問題演習を通して、対策演習で培ったことをいかす。	8
6	対策演習 系統地理分野 共通テスト第3問中心	系統地理の単元別対策を行う。 演習を通して不得意な分野・単元を発見し、解説を通して克服する。 初出の図・グラフに対して、どの部分に着眼点を置けばよいかという判断力を身につける。	8	12	共通テスト対策③ 模擬試験・予想問題演習	問題演習を通して、対策演習で培ったことをいかす。	6
7	対策演習 地誌分野 共通テスト第4問 問題演習応用力養成	各地域の自然・風土・歴史などの特性を総合的に捉え、各地域の開国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い応用力をつける。	6	1	〔二次試験講座〕 〔私大演習講座〕	共通テスト終了後、二次試験対策および私大試験問題を重点的に行い、十分な力を身に付ける。	6
8	対策演習 地誌分野 第4問 複数国比較問題 問題演習応用力養成	各地域の自然・風土・歴史などの特性を総合的に捉え、各地域の開国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い応用力をつける。	2	2			
9	対策演習 日本地理分野 第5問・地形図中心	第5問で問われる日本の自然・地形・産業の特性を理解する。 特徴ある地形図の読図を通し、地形図を読む方法を身につける。	8	3			

備考

教 科 名	数学	科 目 名	数学演習(文系数学ⅠAⅡBC)	単 位 数	4		
対 象	高校3年	履 修 形 態	選択	授 業 形 態	文理別		
学 習 の 到達 目 標	① 基礎的な知識の確認と技能の習得を図りつつ、来たる将来の大学受験に適応できる能力をつけていくための応用力を養っていく。						
評 価 の 観 点 評 価 方 法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。						
学 習 方 法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえる説明が書けるよう心がける。 ③ 解法をできるだけ増やす。						
教科書・教材等	2027共通テスト対策「実力養成」基礎徹底演習数学(ブルーズ) 2027共通テスト対策「実力完成」直前演習数学ⅠA(ラーンズ) 2027共通テスト対策「実力完成」直前演習数学ⅡBC(ラーンズ) 2027共通テスト実戦問題パックⅤ数学ⅠA(駿台文庫) 2027共通テスト実戦問題パックⅤ数学ⅡBC(駿台文庫)						
年 間 授 業 計 画							
月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数
4	共通テスト演習 (単元ごと)	単元ごとのマーク問題に制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	12	10	共通テスト演習 (単元ごと)	単元ごとのマーク問題に制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	16
5	共通テスト演習 (単元ごと)	単元ごとのマーク問題に制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	12	11	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	16
6	共通テスト演習 (単元ごと)	単元ごとのマーク問題に制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	16	12	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	12
7	共通テスト演習 (単元ごと)	単元ごとのマーク問題に制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	12	1	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	12
8	共通テスト演習 (単元ごと)	単元ごとのマーク問題に制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	4	2			
9	共通テスト演習 (単元ごと)	単元ごとのマーク問題に制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	16	3			

備考

教科名	数学	科目名	数学演習(理系数学ⅠAⅡBC)	単位数	4		
対象	高校3年	履修形態	選択	授業形態	文理別		
学習の到達目標	① 基礎的な知識の確認と技能の習得を図りつつ、来たる将来の大学受験に適応できる能力をつけていくための応用力を養っていく。						
評価の観点 評価方法	① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。 ② 学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ③ 評定にあたっては、ペーパーテストなどによる知識や技能のみの評価などの観点に偏した評定を行わず、「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。						
学習方法	① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえる説明が書けるよう心がける。 ③ 解法をできるだけ増やす。						
教科書・教材等	クリアー数学演習ⅠⅡABC(数研出版) 2027共通テスト対策〔実力養成〕基礎徹底演習数学(ラーンズ) 2027共通テスト実戦問題バックⅤ数学ⅠA(駿台文庫) 2027共通テスト実戦問題バックⅤ数学ⅡBC(駿台文庫)						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	問題演習基礎力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、解法を身につけ応用力をつける。	12	10	問題演習応用力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い、応用力をつける。	16
5	問題演習基礎力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、解法を身につけ応用力をつける。	12	11	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	16
6	問題演習基礎力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、解法を身につけ応用力をつける。	16	12	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	12
7	問題演習応用力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い応用力をつける。	16	1	共通テスト演習	共通テスト予想問題を制限時間を設定し、応用問題が解けるようにする。これまで解いた問題がすべて解けるようにする。	12
8	問題演習応用力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い応用力をつける。	4	2			
9	問題演習応用力養成	国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い、応用力をつける。	16	3			

備考

教 科 名		数学		科 目 名		数学Ⅲ		単 位 数		4	
対 象		高校3年		履 修 形 態		選 択		授 業 形 態		一 斉	
学 習 の 到達 目 標		① 微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習得を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。 ② 大学入試に向けて、まず二次・私大の基礎となる問題を演習する。次に応用力、実践力を養う問題を演習することによって、各自が志望する大学に向けての受験対策が行える土台を築く。									
評 価 の 観 点 評 価 方 法		① 学期ごとに科目を10段階法で評価する。学年末には、全学期の成績をもって5段階法で評定を算定する。 ② 評定にあたっては、ペーパーテスト等による知識や技能のみの評価に偏した評定を行わない。 ③ 「知識・技能」「思考・表現・判断」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点による評価を踏まえて行う。									
学 習 方 法		① 授業で学んだ数学的な見方・考え方、公式等の有用性を確認する。 ② 教材等を用いて、途中経過を丁寧に記述することを通し、他人に納得してもらえる説明が書けるよう心がける。									
教科書・教材等		高等学校 数学Ⅲ(数研出版)、4STEP 数学Ⅲ(数研出版)、チャート式 基礎からの数学Ⅲ(数研出版) クリアー数学演習Ⅲ・C(数研出版)									
年 間 授 業 計 画											
月	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		時数	月	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		時数
4	第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分 1. 不定積分とその基本性質 2. 置換積分法と部分積分法 3. いろいろな関数の不定積分		いろいろな関数についての不定積分法・定積分法を理解し、その有用性を認識する。いろいろな関数についての積分法を、図形の求積などに活用できるようにする。		12	10	受験大学問題演習		国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い、応用力をつける。		16
5	第2節 定積分 4. 定積分とその基本性質 5. 置換積分法と部分積分法 6. 定積分のいろいろな問題		いろいろな関数についての定積分法を理解し、その有用性を認識する。いろいろな関数についての積分法を、図形の求積などに活用できるようにする。		12	11	受験大学問題演習		国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い、応用力をつける。		16
6	第3節 積分法の応用 7. 面積 8. 体積 9. 道のり 10. 曲線の長さ		定積分を、直線や曲線で囲まれた部分の面積、立体の体積などに活用できるようにする。		16	12	受験大学問題演習		国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い、応用力をつける。		12
7	問題演習応用力養成		国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い応用力をつける。		12	1	受験大学問題演習		国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い、応用力をつける。		12
8	問題演習応用力養成		国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い応用力をつける。		4	2					
9	問題演習基礎力養成		国公立二次・私立大学の個別試験の問題を解くなかで、基礎の復習をし実践力をつける。		16	3					

備考

教科 科 名	理科	科 目 名	化学演習	単 位 数	4		
対 象	高校3年（理系）	履 修 形 態	選択	授 業 形 態	一斉		
学 習 の 到達 目 標	① 自然の事物・現象について理解する。 ② 人間と自然のかかわりについて考察し、自然に対する関心や探究心を養う。						
評 価 の 観 点 評 価 方 法	① 知識・技能・・・定期考査，実験技能やレポートの提出状況，及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・化学の基本的な概念や原理・法則の理解を小テストや定期考査で評価						
学 習 方 法	① 授業の板書内容をノートに整理し，要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で，基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い，理解を深める。						
教科書・教材等	化学 Vol.1 理論編，化学 Vol.2 物質編（東京書籍），化学図録（数研出版），センサー総合化学（啓林館） オリジナルテキスト，共通テスト実戦問題パック V（駿台文庫），共通テスト分野別演習						
年 間 授 業 計 画							
月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	時数
4	第6編 高分子化合物 第1章 高分子化合物	・高分子化合物の分類や特徴， 合成方法を理解する。	12	10	共通テスト対策 個別試験対策	・共通テスト模試を演習する。 ・私立大学，国公立大学の 過去問を演習する。	16
	第2章 天然高分子化合物 1. 単糖類・二糖類・多糖類 2. アミノ酸 3. タンパク質	・単糖類，二糖類，単糖類の 合成方法を理解する。 ・アミノ酸およびタンパク質の 構造と特徴を検出法とともに 理解する。					
5	第3章 合成高分子化合物 1. 合成繊維 2. プラスチック 3. ゴム	・合成繊維となる合成高分子の 構造や性質を理解する。 ・合成樹脂となる合成高分子の 構造や性質を理解する。 ・天然ゴム・合成ゴムとなる高 分子の構造や性質を理解する。	12	11	共通テスト対策	・共通テスト模試を演習する。	16
	共通テスト対策 個別試験対策	・共通テスト模試を演習する。 ・私立大学，国公立大学の 過去問を演習する。					
6	問題演習応用力養成	・国公立二次・私立大学の個別試 験の演習を行い応用力をつける。	16	12	個別試験対策	・私立大学，国公立大学の 過去問を演習する。	12
	問題演習応用力養成						
7			12	1			
8			4	2			
9			16	3			

備考

教科名	理科	科目名	物理・物理演習	単位数	4		
対象	高校3年(理系)	履修形態	選択	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 物理的な事物・現象についての関心・探究心を高め、概念や原理・法則を理解する。 ② 自然の事物・事象についての観察・実験などを行い、自然を探究する能力や態度を高める。						
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価						
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。						
教科書・教材等	物理基礎(数研出版)，物理(数研出版) センサー総合物理(啓林館)，共通テスト実践問題パックⅤ(駿台文庫) 共通テスト分野別演習						
年間授業計画							
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	第3章 電流と磁場	・電流が作る磁場について理解し状況ごとにかくことができる。 ・電流が磁場から受ける力について理解し適切に公式を使える。 ・ローレンツ力を理解し，円運動する荷電粒子の運動を記述できる。	12	10	大学入試共通テスト対策	・分野別演習を通して総復習を行うと共に，苦手分野を克服する ・大学入試共通試験実戦問題を演習し理解を深める。	16
5	第4章 電磁誘導と電磁場	・電磁誘導の法則を理解し，誘導起電力を考えながら回路に流れる電流を求めることができる。 ・交流電圧の発生原理を理解し，三角関数を使って記述できる。 ・インダクタンス，リアクタンスについて理解し，交流回路の電圧を求めることができる。	12	11	大学入試共通テスト対策	・分野別演習を通して総復習を行う。 ・大学入試共通試験実戦問題を演習し理解を深める。	16
6	第5編 原子 第1章 電子と光	・比電荷，トムソンの実験，ミリカンの実験を考察し，電気素量の求め方を理解する。	12	12	大学入試共通テスト対策	・分野別演習を通して総復習を行う。 ・大学入試共通試験実戦問題を演習し理解を深める。	12
7	第2章 原子，電子と物質の性質	・光電効果やコンプトン効果を知ること，光の波動性や粒子性を理解する。 ・ボーアの量子条件からエネルギー準位を求めることができる。 ・放射性物質について知，放射性崩壊について理解を深める。	12	1	私立大学・国公立大学 二次試験対策	・大学個別入試問題を演習し，各大学の傾向を知ること，対策をたてる。	12
8	問題演習応用力養成	・国公立二次・私立大学の個別試験の演習を行い応用力をつけると共に，苦手分野を克服する。 ・大学入試共通試験実戦問題を演習し理解を深める。	4	2			
9	大学入試共通テスト対策	・分野別演習を通して総復習を行うと共に，苦手分野を克服する ・大学入試共通試験実戦問題を演習し理解を深める。	16	3			

備考

教科名	理科		科目名		生物・生物演習		単位数	4		
対象	高校3年(理系)		履修形態		選択		授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 自然の事物・現象について理解する。 ② 人間と自然のかかわりについて考察し、自然に対する関心や探究心を養う。									
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価									
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。									
教科書・教材等	生物(数研出版), センサー総合生物(啓林館) 共通テスト実践問題バックV(駿台文庫), 共通テスト分野別演習									
年間授業計画										
月	学習内容		学習のねらい		時数	月	学習内容		学習のねらい	時数
4	4編 生物の環境応答 第1章 動物の刺激の受容と反応		・ニューロンのはたらきについて理解する。 ・刺激はどのようにして受け取られるかを理解する。 ・神経系における情報の処理や統合のしくみを理解する。		12	10	大学入学共通テスト対策 その2		・教科書の欄外の内容に触れ理解を深める。	16
5	第2章 動物の行動 第3章 植物の環境応答		・神経系の発達と動物の行動の関係を理解する。 ・被子植物の生殖と発生について理解する。		16	11	大学入学共通テスト対策 その3		・予想問題、過去問を用いて総合的に演習を行う。	16
6			・植物の一生と各段階での植物ホルモンの作用を理解する。 ・光刺激と植物の反応について理解する。 ・刺激に対する植物の応答に関与する物質について理解する。		16	12	大学入学共通テスト対策 その4		・予想問題、過去問を用いて総合的に演習を行う。	12
7	第4編 生態と環境 第7章 生物群集と生態系 1. 個体群		・開花や発芽はどのようなしくみで行われているかを理解する。 ・同一種の個体からなる集団について理解する。 ・種内関係について理解する。		12	1	私立大学・国公立大学 二次試験対策		・各大学の過去問を中心に二次試験に対応できる力を養う。	12
8	3. 異種個体群間の関係 4. 生物群集		・種間関係について理解する。 ・生態的地位について理解する。		4	2				
9	6. 生態系と生物多様性 大学入学共通テスト対策 その1		・多様性とそれに影響を与える要因について理解する。 ・各分野ごとの内容を深めながら他の分野との関連づけて理解する。		16	3				

備考

教科名	理科		科目名		理科基礎演習Ⅱ		単位数	3		
対象	高校3年(文系)		履修形態		選択		授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 自然の事物・現象について理解する。 ② 人間と自然のかかわりについて考察し、自然に対する関心や探究心を養う。									
評価の観点 評価方法	① 知識・技能・・・定期考査、実験技能やレポートの提出状況、及びその内容で評価 ② 思考・判断・表現・・・実力テストや定期考査で評価 ③ 主体的に学習に取り組む態度・・・授業での活動状況、課題の取り組み状況で評価									
学習方法	① 授業の板書内容をノートに整理し、要点をとらえる。 ② 授業時に行う演習で、基本事項を確実に押さえる。 ③ 自ら進んで問題演習を行い、理解を深める。									
教科書・教材等	化学基礎(東京書籍)、生物基礎(数研出版)、地学基礎(東京書籍) オリジナルテキスト、共通テスト実践問題パックⅤ(駿台文庫)、共通テスト分野別演習									
年間授業計画										
月	学習内容		学習のねらい		時数	月	学習内容		学習のねらい	時数
4	大学入学共通テスト対策 その1		・知識問題を焦点に図やグラフを みながら基本的な概略を各分野 ごとに理解する。		9	10	大学入学共通テスト対策 その3		・教科書の欄外の内容に触れ理解 を深める。	12
5	大学入学共通テスト対策 その1		・知識問題を焦点に図やグラフを みながら基本的な概略を各分野 ごとに理解する。		9	11	大学入学共通テスト対策 その4		・予想問題、過去問を用いて総合 的に演習を行う。	12
6	大学入学共通テスト対策 その1		・知識問題を焦点に図やグラフを みながら基本的な概略を各分野 ごとに理解する。		12	12	大学入学共通テスト対策 その4		・予想問題、過去問を用いて総合 的に演習を行う。	9
7	大学入学共通テスト対策 その2 問題演習応用力養成		・各分野ごとの内容を深めながら 他の分野と関連づけて理解する。 ・国公立二次・私立大学の個別試 験の演習を行い応用力をつける。		9	1	私立大学・国公立大学 二次試験対策		・各大学の過去問を中心に二次試 験に対応できる力を養う。	9
8	大学入学共通テスト対策 その2 問題演習応用力養成		・各分野ごとの内容を深めながら 他の分野と関連づけて理解する。 ・国公立二次・私立大学の個別試 験の演習を行い応用力をつける。		3	2				
9	大学入学共通テスト対策 その3		・教科書の欄外の内容に触れ理解 を深める。		12	3				

備考

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3		
対象	高校3年	履修形態	必修	授業形態	一斉		
学習の到達目標	① 運動の合理的、計画的な実践を通して、知識を深めるとともに技能を高め、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにし、事故の状況に応じて体力の向上を図る能力を育て、公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康安全を確保して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育てる。						
評価の観点 評価方法	① 忘れ物や提出物などを含め、授業を通して自らを高めようとする意欲・関心・態度を評価する。 ② 各種目（内容）の技能を実技テストによって総合的に評価する。 ③ 各学期ごと、自己の振り返り、努力・工夫したことを思考・判断として総合的に評価する。						
学習方法	① 集団行動 ② 基礎的・合理的な運動の実践						
教科書・教材等	必要に応じて視聴覚教材						
月	学習内容	学習のねらい	時数	月	学習内容	学習のねらい	時数
4	体づくり運動 ※体育理論 豊かなスポーツライフの設計の仕方	体を動かす楽しさや心地よさを味わい、健康の保持増進や体力の向上を図り、目的に適した運動の計画や自己の体力や生活に応じた運動の計画を立て実生活に役立てることができる。 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる。 記録の向上や競争の楽しさを味わい、各種目特有の技能を高めることができる。	9	10	【選択①】 ・ネット型 ・ゴール型 ・ベースボール型	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。	12
	陸上競技					ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と、連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。	
5			9	11		ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。	12
		ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開する。					
6	球技：ネット型 （卓球/バドミントン）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と、連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開する。	12	12	【選択②】 ・ネット型 ・ゴール型 ・ベースボール型	技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	9
7			9	1			9
8			3	2			
	球技：ゴール型 （サッカー/フットサル）	勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 ゴール型では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの連携した動きによって空間への侵入などから攻防を展開する。					
9			12	3			

備考 気象状況（猛暑）による運動禁止や制限によって、学習内容の変更があり得る。

教 科 名		外国語	科 目 名	英コミⅢ、論表Ⅲ	単 位 数	6	
対 象		高校3年	履 修 形 態	必修	授 業 形 態	習熟度別	
学習の到達目標		① 一つ一つの文だけでなく、全体の意味を把握する読解力・思考力を身につける。 ② 読み取った内容を、自分の言葉で論理立てて表現できる記述力を身につける。 ③ 多様なテーマを通して、背景知識を身につける。 ④ 英語の文化をふまえ、自然な英訳力を身につける。 ⑤ 180wpm以上の英文を聞き、的確に内容をつかむ。 ⑥ αクラスは共通テストでリーディング平均140点以上、リスニング平均70点以上の得点力をつける。 ⑦ βクラスは旧帝大クラスの二次試験問題（筆記、リスニング含む）で平均7割以上の得点力をつける。					
評価の観点 評価方法		① 4技能（読む・書く・聞く・話す）のための知識と技能を身につけているかという観点で、定期考査、実力テスト、小テストなどによる評価を行う。（知識・技能） ② 学習した知識や技能を活用して概要や要点などを目的に応じてとらえることができるかという観点で、定期考査、実力テスト、授業時における英語活動などによる評価を行う。（思考・判断・表現） ③ 異文化理解や英語を用いてのコミュニケーションへの主体的な取り組みという観点で、授業や課題への取り組み、提出物などによる評価を行う。（主体的に学習に取り組む態度）					
学 習 方 法		① 「目標解答時間」を参考にして解答した後、綿密な予習をして授業に臨む。 ② 段落ごとの要旨をつかみ、英文全体の論理展開を理解し、要約力をきたえる。 ③ 複雑な文構造の英文を、自然な表現で和訳できるように演習する。 ④ 直英作にならないよう英訳するための語彙、文法、構造の知識を授業を通じて身につける。 ⑤ 速読英単語（必修、上級）、GRAMMARMASTERを活用し、語彙力、熟語力の定着を図る。 ⑥ 200wpm程度の英文を聞き、Shadowing、Dictationなどの技法を用い、T/F問題を確実に得点できるようにする。					
教科書・教材等		教科書 ENLICH LEARNING ENGLISH COMMUNICATION Ⅲ（東京書籍） FACTBOOK English Logic and Expression Ⅲ（桐原書店） 副教材 GRAMMARMASTER（Z会） 本校オリジナルテキスト 速読英単語入門編（Z会）速読英単語必修編（Z会）					
年 間 授 業 計 画							
月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い		月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	
4	大学入試問題、湯梨浜オリジナル問題を用い、自宅での予習を前提とした徹底演習期	αクラスは大学入学共通テスト～中堅私立大学レベルの問題に慣れ確実に得点できるようにする。 βクラスは国公立大学二次試験レベル（中難易度～高難易度）を解きこみ、各大学の特徴を捉える。	18	10	自宅での予習を前提とした応用力および柔軟性育成期	語学の根幹である情報交換が、いかなる問題でも、各言語において「より自然」となるよう、その応用力、柔軟性を養う。	24
5			18	11			24
6			24	12	自宅での予習を前提とした大学入学共通テスト演習期	各個人の大学入学共通テスト目標点に達するべく、時間配分を考慮して解答させる。	18
7	自宅での予習を前提とした各クラスの4技能の弱点を補う補強期	4月からこれまでの各クラスで、垣間見えた弱点を補強し、安定感のある英語力をつける。	18	1			18
8			6	2			
9	自宅での予習を前提とした応用力および柔軟性育成期	語学の根幹である情報交換が、いかなる問題でも、各言語において「より自然」となるよう、その応用力、柔軟性を養う。		24	3		

湯梨浜学園

VICTORY
LIST

湯梨浜学園 VICTORY LIST 国語

		論理的文章		文学的文章		古文		漢文		
高校 3年	1 学期	☐	共通テスト論理的文章を読み解き、選択肢問題を消去法で解答を導ける。	☐	共通テスト文学的文章を読み解き、選択肢問題を消去法で解答を導ける。	☐	共通テスト古文範囲を逐語訳できる古文単語・文法の力が身についている。	☐	共通テスト漢文範囲を逐語訳できる漢文単語・句法の力が身についている。	
		☐	模試の100字前後の記述問題において、7割以上の解答にすることができる。	☐	共通テスト文学的文章で細かい心情の読み取りまで考慮できる。	☐	古文の長文を読み、当時の男女間の感情の機微を読み取ることができる。	☐	漢文の長文を現代語訳し、当時の自然観や世界観(思想)を理解できる。	
		☐	漢字・慣用句など入試レベルの語彙が身についている。							
		☐	AO・推薦入試に合格できるレベルの小論文の記述力がある。							
		☐	私立大学・国公立二次レベルの長文問題を概ね正答できる力がある。							
		☐	共通テストのデータや文章の読み取り問題に対応できる情報処理能力がある。							
		☐	自分の意見を相手に正しく伝えるプレゼンテーション能力がある。							
		☐	自身の将来像を具体的に文章でまとめたり他者に発表できる。							
		☐	「必修語彙ノート」の全体が7割以上分かる。					☐	「サクラサク古文単語」の全体が8割以上分かる。	
	2 学期	☐	共通テスト論理的文章を速読即解でき、7割以上の得点力がある。	☐	共通テスト文学的文章を速読即解でき、7割以上の得点力がある。	☐	共通テスト古文で、古文常識や和歌なども正確に読み取り、満点を狙う実力がある。	☐	共通テスト漢文で、漢文常識や漢詩なども正確に読み取り、満点を狙う実力がある。	
		☐	「必修語彙ノート」の全体が7割以上分かる。					☐	「サクラサク古文単語」と「漢文の重要単語」の9割以上分かる。	
		☐	漢字・慣用句など入試レベルの語彙が完璧に身についている。							
		☐	共通テストのデータや文章の読み取りを正確に対応できる情報処理能力がある。							
		☐	難関私立大学・国公立二次の記述問題において指定条件を踏まえた解答を作ることができる。							
		☐	国公立二次試験問題に対応できるレベルの小論文の記述力がある。							
		☐	自身の将来像を具体的に文章でまとめ、大学面接で表現できる力がある。							
		☐	難関私立大学・国公立大学レベルの問題で7割以上を得点する力がある。							

湯梨浜学園 VICTORY LIST 世界史

番号		内容
1	☐	産業革命について理解できる。
2	☐	アメリカ独立革命について理解できる。
3	☐	フランス革命とナポレオンについて理解できる。
4	☐	ウィーン体制の成立について理解できる。
5	☐	ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生について理解できる。
6	☐	南北アメリカの発展について理解できる。
7	☐	19世紀欧米の文化について理解できる。
8	☐	オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容について理解できる。
9	☐	南アジア・東南アジアの植民地化について理解できる。
10	☐	東アジアの激動について理解できる。
11	☐	帝国主義と列強の展開について理解できる。
12	☐	世界分割と列強対立について理解できる。
13	☐	アジア諸国の改革と民族運動について理解できる。
14	☐	第一次世界大戦とロシア革命について理解できる。
15	☐	ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について理解できる。
16	☐	アジア・アフリカ地域の民族運動について理解できる。
17	☐	世界恐慌とファシズム諸国の侵略について理解できる。
18	☐	第二次世界大戦について理解できる。
19	☐	戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立について理解できる。
20	☐	米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興について理解できる。
21	☐	第三世界の台頭と米・ソの歩み寄りについて理解できる。
22	☐	石油危機と世界経済の再編について理解できる。
23	☐	社会主義世界の変容とグローバリゼーションの進展について理解できる。
24	☐	途上国の民主化と独裁政権の動揺について理解できる。
25	☐	地域紛争の激化と深刻化する貧困について理解できる。
26	☐	現代文明の諸相について理解できる。
27	☐	第1章の共通テスト問題が解ける。
28	☐	第2章の共通テスト問題が解ける。
29	☐	第3章の共通テスト問題が解ける。
30	☐	第4章の共通テスト問題が解ける。
31	☐	第5章の共通テスト問題が解ける。
32	☐	第6章の共通テスト問題が解ける。
33	☐	第7章の共通テスト問題が解ける。
34	☐	第8章の共通テスト問題が解ける。
35	☐	第9章の共通テスト問題が解ける。
36	☐	第10章の共通テスト問題が解ける。
37	☐	第11章の共通テスト問題が解ける。
38	☐	第12章の共通テスト問題が解ける。
39	☐	第13章の共通テスト問題が解ける。
40	☐	第14章の共通テスト問題が解ける。
41	☐	第15章の共通テスト問題が解ける。
42	☐	第16章の共通テスト問題が解ける。
43	☐	グラフ問題が解ける。
44	☐	資料問題が解ける。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 日本史

番号		内容
1	☐	戦後恐慌・金融恐慌が理解できている。
2	☐	金解禁と世界恐慌が理解できている。
3	☐	満州事変が理解できている。
4	☐	政党内閣の崩壊と国際連盟からの脱退のようすが理解できている。
5	☐	軍部の台頭とその背景が理解できている。
6	☐	日中戦争のようすが説明できる。
7	☐	戦時統制と生活が説明できる。
8	☐	第二次世界大戦の勃発と三国同盟のしくみが理解できている。
9	☐	太平洋戦争とその戦局が説明できる。
10	☐	敗戦までの道筋が理解できている。
11	☐	初期の占領政策が理解できている。
12	☐	民主化政策について理解できている。
13	☐	日本国憲法の制定について理解できている。
14	☐	朝鮮戦争と日本の関りが説明できる。
15	☐	サンフランシスコ平和条約に至るまでの日本の復興策が理解できている。
16	☐	独立後の日米安全保障体制が理解できている。
17	☐	高度経済成長における日本の出来事が理解できる。
18	☐	1973年以降の日本の出来事が理解できる。
19	☐	1980年代の日本の出来事が理解できる。
20	☐	1990年代の日本の出来事が理解できる。
21	☐	2000年代の日本の出来事が理解できる。
22	☐	共通テスト第5問 幕末から明治の問題が解ける。
23	☐	共通テスト第6問 明治から現代にかけての問題が解ける。
24	☐	1つの史料を読み取った問題が解ける。
25	☐	2つもしくは3つの史料を組み合わせた読み取り問題が解ける。
26	☐	共通テスト型問題 第一問題 テーマ史が解ける。
27	☐	共通テスト型問題 第二問題 古代史が解ける。
28	☐	共通テスト型問題 第三問題 中世史が解ける。
29	☐	共通テスト型問題 第四問題 近世史が解ける。
30	☐	共通テスト型問題 第五問題 幕末・明治史が解ける。
31	☐	共通テスト型問題 第六問題 明治～現代史が解ける。
32	☐	複数の資料を読み取った問題が解ける。
33	☐	地図を使った問題が解ける。
34	☐	写真を使用した問題が解ける。
35	☐	年代順並べ替え問題が解ける。
36	☐	4択問題の正誤が指摘できる。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 日本史

番号		内容
1	☐	北アメリカの工業の地域的特徴が理解できる。
2	☐	北アメリカの農業の特徴が理解できる。
3	☐	北アメリカの気候の問題が解ける。
4	☐	アメリカ西海岸から南部にかけての移民問題の特徴が理解できる。
5	☐	カナダの言語使用地域の違いが理解できる。
6	☐	南アメリカの工業の地域的特徴が理解できる。
7	☐	南アメリカの農業の特徴が理解できる。
8	☐	南アメリカの気候の問題が解ける。
9	☐	南アメリカの都市問題について図を用いた問題が解ける。
10	☐	オセアニアの工業の特徴が理解できる。
11	☐	オセアニアの農業の特徴が理解できる。
12	☐	オセアニアの民族と公用語について理解できる。
13	☐	オセアニアの地形の問題が解ける。
14	☐	日本の第一次産業の特徴が理解できる。
15	☐	日本の第二次産業の特徴が理解できる。
16	☐	日本の第三次産業の特徴が理解できる。
17	☐	日本の気候についての問題が解ける。
18	☐	日本の地形に関する問題が解ける。
19	☐	地形図を利用した問題が解ける。
20	☐	共通テスト型問題第一問題で、地体構造についての問題が解ける。
21	☐	共通テスト型問題第一問題で、災害に関する問題が解ける。
22	☐	共通テスト型問題第一問題で、気候に関する問題が解ける。
23	☐	共通テスト型問題第二問題で、農業に関する問題が解ける。
24	☐	共通テスト型問題第二問題で、工業に関する問題が解ける。
25	☐	共通テスト型問題第二問題で、鉱業に関する問題が解ける。
26	☐	共通テスト型問題第二問題で、エネルギーに関する問題が解ける。
27	☐	共通テスト型問題第三問題で、世界の都市に関する問題が解ける。
28	☐	共通テスト型問題第三問題で、日本の村落に関する問題が解ける。
29	☐	共通テスト型問題第三問題で、世界の宗教に関する問題が解ける。
30	☐	共通テスト型問題第三問題で、世界の文化に関する問題が解ける。
31	☐	共通テスト型問題第四問題で、東アジア地誌に関する問題が解ける。
32	☐	共通テスト型問題第四問題で、東南アジア地誌に関する問題が解ける。
33	☐	共通テスト型問題第四問題で、南アジア地誌に関する問題が解ける。
34	☐	共通テスト型問題第四問題で、西アジア地誌に関する問題が解ける。
35	☐	共通テスト型問題第四問題で、アフリカ地誌に関する問題が解ける。
36	☐	共通テスト型問題第四問題で、ヨーロッパ地誌に関する問題が解ける。
37	☐	共通テスト型問題第四問題で、アングロアメリカ地誌に関する問題が解ける。
38	☐	共通テスト型問題第四問題で、ラテンアメリカ地誌に関する問題が解ける。
39	☐	共通テスト型問題第四問題で、オセアニア地誌に関する問題が解ける。
40	☐	共通テスト型問題第四問題で、ロシア周辺地誌に関する問題が解ける。
41	☐	共通テスト型問題第四問題で、比較地誌に関する問題が解ける。
42	☐	共通テスト型問題第五問題で、日本地理に関する問題が解ける。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 数学

学期	番号		内容
1学期	1	☐	標準的な大学入試問題(Step Up)が6割以上解ける(理系)
	2	☐	基礎的な大学入試問題(Step Up)が8割以上解ける(理系)
	3	☐	基礎的な大学入試問題(Practice)が6割以上解ける(理系)
	4	☐	基礎的な大学入試問題(Practice)が8割以上解ける(理系)
	5	☐	標準的な共通テスト対策問題が6割以上解ける(文系)
	6	☐	標準的な共通テスト対策問題が8割以上解ける(文系)
	7	☐	基本的な共通テスト対策問題(Warming up)が6割以上解ける(文系)
	8	☐	基本的な共通テスト対策問題(Warming up)が8割以上解ける(文系)
2学期	1	☐	応用的な大学入試問題が5割以上解ける(理系)
	2	☐	標準的な大学入試問題が8割以上解ける(理系)
	3	☐	応用的な共通テスト対策問題が5割以上解ける(文系)
	4	☐	標準的な共通テスト対策問題が8割以上解ける(文系)

湯梨浜学園 VICTORY LIST 数学Ⅲ

学期	番号		内容
1学期	1	☐	定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の定積分を計算できる。
	2	☐	絶対値を含む関数の定積分が面積を表していると考えて、定積分の計算を考察することができる。
	3	☐	偶関数、奇関数の定積分の性質を理解し、積分区間が原点对称のとき、それを利用して定積分の計算をすることができる。
	4	☐	定積分の置換積分法、部分積分法を理解し、それを利用して複雑な関数の定積分を計算できる。
	5	☐	上端、下端が変数 x である定積分で表された関数の扱い方を理解している。
	6	☐	上端、下端がともに定数である定積分を含む関数を定積分を定数とおくことで求められる。
	7	☐	特別な形をした数列の和の極限を、定積分を利用して計算することができる。
	8	☐	関数の大小とその関数の定積分の大小との関係について理解している。
	9	☐	不等式に現れる式の図形的意味を考えることで、定積分を利用して不等式の証明を考察することができる。
	10	☐	直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができる。
	11	☐	媒介変数表示された曲線や直線で囲まれた部分の面積を、置換積分の考えで計算して求めることができる。
	12	☐	立体の断面積を積分することで体積が求められることを理解し、体積を求めることができる。
	13	☐	回転体の体積を求める方法を理解し、回転体の体積を求めることができる。
	14	☐	媒介変数表示された曲線を回転させてできる立体の体積を、置換積分の考えで計算して求めることができる。
	15	☐	数直線上を運動する点の座標、道のりを定積分を用いて求めることができる。
	16	☐	座標平面上の点の座標が媒介変数で表されているとき、点が動く道のりを定積分を用いて求めることができる。
	17	☐	定積分を用いて、曲線の長さを求めることができる。
2学期	1	☐	Warm Up 問題

湯梨浜学園 VICTORY LIST 数学 I A II BC(理系)

学期	番号		内容
1学期	1	☐	クリアー数学演習 I A Practiceが5割以上解ける
	2	☐	クリアー数学演習 I A Practiceが8割以上解ける
	3	☐	クリアー数学演習 I A Warm Upが5割以上解ける
	4	☐	クリアー数学演習 I A Warm Upが8割以上解ける
	5	☐	クリアー数学演習 I A Step Upが5割以上解ける
	6	☐	クリアー数学演習 I A Step Upが8割以上解ける
	7	☐	クリアー数学演習 II BC Practiceが5割以上解ける
	8	☐	クリアー数学演習 II BC Practiceが8割以上解ける
	9	☐	クリアー数学演習 II BC Warm Upが5割以上解ける
	10	☐	クリアー数学演習 II BC Warm Upが8割以上解ける
	11	☐	クリアー数学演習 II BC Step Upが5割以上解ける
	12	☐	クリアー数学演習 II BC Step Upが8割以上解ける
2学期	1	☐	クリアー数学演習 I A Practiceが5割以上解ける
	2	☐	クリアー数学演習 I A Practiceが8割以上解ける
	3	☐	クリアー数学演習 I A Warm Upが5割以上解ける
	4	☐	クリアー数学演習 I A Warm Upが8割以上解ける
	5	☐	クリアー数学演習 I A Step Upが5割以上解ける
	6	☐	クリアー数学演習 I A Step Upが8割以上解ける
	7	☐	クリアー数学演習 II BC Practiceが5割以上解ける
	8	☐	クリアー数学演習 II BC Practiceが8割以上解ける
	9	☐	クリアー数学演習 II BC Warm Upが5割以上解ける
	10	☐	クリアー数学演習 II BC Warm Upが8割以上解ける
	11	☐	クリアー数学演習 II BC Step Upが5割以上解ける
	12	☐	クリアー数学演習 II BC Step Upが8割以上解ける
	13	☐	数学 I A共通テスト予想問題が5割以上解ける
	14	☐	数学 I A共通テスト予想問題が8割以上解ける
	15	☐	数学 II BC共通テスト予想問題が5割以上解ける
	16	☐	数学 II BC共通テスト予想問題が8割以上解ける

湯梨浜学園 VICTORY LIST 数学ⅠAⅡBC(文系)

学期	番号	内容
1学期	1	☐ 重要問題演習数学ⅠA Warming UPが5割以上解ける
	2	☐ 重要問題演習数学ⅠA Warming UPが8割以上解ける
	3	☐ 重要問題演習数学ⅠA ★問題が5割以上解ける
	4	☐ 重要問題演習数学ⅠA ★問題が8割以上解ける
	5	☐ 重要問題演習数学ⅠA ★★問題が5割以上解ける
	6	☐ 重要問題演習数学ⅠA ★★問題が8割以上解ける
	7	☐ 重要問題演習数学ⅡBC Warming UPが5割以上解ける
	8	☐ 重要問題演習数学ⅡBC Warming UPが8割以上解ける
	9	☐ 重要問題演習数学ⅡBC ★問題が5割以上解ける
	10	☐ 重要問題演習数学ⅡBC ★問題が8割以上解ける
	11	☐ 重要問題演習数学ⅡBC ★★問題が5割以上解ける
	12	☐ 重要問題演習数学ⅡBC ★★問題が8割以上解ける
2学期	1	☐ 重要問題演習数学ⅠA Warming UPが5割以上解ける
	2	☐ 重要問題演習数学ⅠA Warming UPが8割以上解ける
	3	☐ 重要問題演習数学ⅠA ★問題が5割以上解ける
	4	☐ 重要問題演習数学ⅠA ★問題が8割以上解ける
	5	☐ 重要問題演習数学ⅠA ★★問題が5割以上解ける
	6	☐ 重要問題演習数学ⅠA ★★問題が8割以上解ける
	7	☐ 重要問題演習数学ⅡBC Warming UPが5割以上解ける
	8	☐ 重要問題演習数学ⅡBC Warming UPが8割以上解ける
	9	☐ 重要問題演習数学ⅡBC ★問題が5割以上解ける
	10	☐ 重要問題演習数学ⅡBC ★問題が8割以上解ける
	11	☐ 重要問題演習数学ⅡBC ★★問題が5割以上解ける
	12	☐ 重要問題演習数学ⅡBC ★★問題が8割以上解ける
	13	☐ 数学ⅠA共通テスト予想問題が5割以上解ける
	14	☐ 数学ⅠA共通テスト予想問題が8割以上解ける
	15	☐ 数学ⅡBC共通テスト予想問題が5割以上解ける
	16	☐ 数学ⅡBC共通テスト予想問題が8割以上解ける

湯梨浜学園 VICTORY LIST 化学(理系)

番号		内容
1	☐	単糖類の特徴が説明できる。
2	☐	グルコースの3つの平衡状態の構造式が書ける。
3	☐	二糖類がどの単体から合成されているか説明できる。
4	☐	二糖類の還元性の有無を説明できる。
5	☐	多糖類の名称と特徴を説明できる。
6	☐	アミノ酸の種類と特徴が説明できる。
7	☐	双性イオンに関する構造式が書ける。
8	☐	タンパク質の構造と検出法が説明できる。
9	☐	天然繊維を判別できる。
10	☐	合成繊維を構成する単量体、合成繊維の構造式が書ける。
11	☐	合成樹脂を構成する単量体、合成樹脂の構造式が書ける。
12	☐	プラスチックの再利用の方法が説明できる。
13	☐	イオン交換樹脂の特徴が説明できる。
14	☐	機能性高分子の特徴が説明できる。
15	☐	天然ゴムの特徴が説明できる。
16	☐	加硫について説明できる。
17	☐	合成ゴムの単量体、合成ゴムの構造式が書ける。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 物理

番号		内容
1	☐	キルヒホッフの法則から抵抗に流れる電流を計算できる。
2	☐	磁場について理解し、直線電流、円電流、ソレノイドが作る磁場を求めることができる。
3	☐	電磁誘導を理解し、回路に流れる電流や一定速度で動かすための外力を求めることができる。
4	☐	ローレンツ力を理解し、一様な磁場に入射した荷電粒子の運動の軌跡を考えることができる。
5	☐	自己インダクタンス、相互インダクタンスを理解し、状況に応じてそれらを求めることができる。
6	☐	交流回路について理解し、インピーダンスやリアクタンスを求められる。
7	☐	位相のずれを考慮し、交流回路に流れる電流や電圧を三角関数を用いて表現できる。
8	☐	光電効果を理解し、金属の仕事関数を計算できる。
9	☐	コンプトン効果について理解し、運動量保存則やエネルギー保存則が立式できる。
10	☐	ボーアの量子条件や運動方程式を使って、エネルギー準位が計算できる。
11	☐	α 崩壊、 β 崩壊、 γ 崩壊についてそれぞれの特徴を述べることができる。
12	☐	放射性物資の半減期や年代推定の計算ができる。
13	☐	核分裂反応から、質量欠損を計算できる。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 生物

番号		内容
1	☐	ヒトの視覚について、その構造と光量・遠近調節について説明できる。
2	☐	ヒトの聴覚について、その構造と昇格が生じる仕組みについて説明できる。
3	☐	興奮の発生の仕組みとナトリウム・カリウムイオンの関係について説明できる。
4	☐	神経系の種類とそのはたらきの違いを説明できる。
5	☐	骨格筋の構造と筋収縮の仕組みを説明できる。
6	☐	筋収縮のエネルギーについて説明できる。
7	☐	生得的行動について、例を挙げて説明できる。
8	☐	学習について、例を挙げて説明できる。
9	☐	オーキシンによる成長、屈性などの生理現象と関連付けて説明できる。
10	☐	ジベレリン、サイトカイニンによる細胞の成長と分化について説明できる。
11	☐	花芽形成について、植物ホルモンと光周性について関連付けて説明できる。
12	☐	生命の誕生についてその過程を説明できる。
13	☐	生命の変遷と地球環境の変化を関連付けて説明できる。
14	☐	人類の起源と進化について説明できる。
15	☐	進化の証拠について、化石や形態の比較から説明できる。
16	☐	生物の変異と進化の要因について、突然変異を用いて説明できる。
17	☐	ハーディー・ワインベルグの法則を用いて遺伝的構成の変化を考えることができる。
18	☐	アミノ酸の相違における分子進化について考えることができる。
19	☐	3ドメイン説と五界説に基づき、生物を分類できる。
20	☐	個体群密度と成長曲線について説明できる。
21	☐	種内関係・種間関係について生じる現象について説明できる。
22	☐	生態系の物質生産について、各項目の計算ができる。
23	☐	生態系と生物多様性について関わる現象を説明できる。

湯梨浜学園 VICTORY LIST 英語

番号		内容
1	☐	各段落のトピックセンテンスを意識して読むことができる。(Reading)
2	☐	文章全体の大意を把握することができる。(Reading)
3	☐	指示語をとらえながら英文を読むことができる。(Reading)
4	☐	逆接・順接の接続詞を意識して読むことができる。(Reading)
5	☐	英文の基本構造(SVOC)を見抜くことができる。(Reading)
6	☐	分詞や関係詞による修飾・説明をとらえことができる。(Reading)
7	☐	形式主語(目的語)が示す名詞句(節)に気づき、文脈を考えることができる。(Reading)
8	☐	It is ~ thatの文において強調構文を見抜くことができる。(Reading)
9	☐	代用表現や省略を補って文脈を考えることができる。(Reading)
10	☐	共通テスト形式の問題(リーディング)で5割程度正答できる。(Reading)
11	☐	共通テスト形式の問題(リーディング)で6割以上正答できる。(Reading)
12	☐	共通テスト形式の問題(リーディング)で8割以上正答できる。(Reading)
13	☐	和訳問題において6割以上正答できる。(Reading)
14	☐	内容正誤問題において6割以上正答できる。(Reading)
15	☐	内容正誤問題において8割以上正答できる。(Reading)
16	☐	基本5文型を理解し、文章を書くことができる。(Writing)
17	☐	トピックセンテンスを書くことができる。(Writing)
18	☐	トピックセンテンスとパラグラフの構造を理解する。(Writing)
19	☐	for exampleなど用いて例を挙げながら書くことができる。(Writing)
20	☐	first, thenなどを用いて時間の順序を考えて書くことができる。(Writing)
21	☐	but, additionallyなどを用いて書くことができる。(Writing)
22	☐	イディオムや構文を取り入れた英文を書くことができる。(Writing)
23	☐	構文や文法を意識して並べかえ問題や英作文ができる。(Writing)
24	☐	パラグラフの構成を考えることができる。(Writing)
25	☐	パラグラフを構成することができる。(Writing)
26	☐	一つのパラグラフを英文で書くことができる。(Writing)
27	☐	直訳でなく、日本語の意味に沿った自然な英作文ができる。(Writing)
28	☐	英語で短いエッセイを書くことができる。(Writing)
29	☐	全国模試における英作文で4割以上得点できる。(Writing)
30	☐	全国模試における英作文で6割以上得点できる。(Writing)
31	☐	全国模試における英作文で8割以上得点できる。(Writing)
32	☐	イギリス英語の音声や表現に慣れる。(Listening)
33	☐	アメリカ英語の音声や表現に慣れる。(Listening)
34	☐	絵や写真を説明する英文が聞き取れる。(Listening)
35	☐	短い対話を聞き取ることができる。(Listening)
36	☐	講義文を聞き、その内容を理解することができる。(Listening)
37	☐	複数の説明を聞き、総合的に理解し判断することができる。(Listening)
38	☐	時刻や金額など、数を聞き取ることができる。(Listening)
39	☐	共通テスト形式の問題(リスニング)において4割以上正答できる。(Listening)
40	☐	共通テスト形式の問題(リスニング)において6割以上正答できる。(Listening)

番号		内容
41	☐	共通テスト形式の問題(リスニング)において8割以上正答できる。(Listening)
42	☐	未知の語彙に関する問いに対して6割以上正答できる。(語彙)
43	☐	300問テストで100点以上得点できる。(語彙)
44	☐	300問テストで150点以上得点できる。(語彙)
45	☐	300問テストで200点以上得点できる。(語彙)
46	☐	英単語の強化に努めている。(受験対策)
47	☐	イディオムの強化に努めている。(受験対策)
48	☐	構文・語法の強化に努めている。(受験対策)
49	☐	精読・和訳の強化に努めている。(受験対策)
50	☐	大意把握・要約の強化に努めている。(受験対策)
51	☐	条件英作文・語句整序問題の強化に努めている。(受験対策)
52	☐	自由英作文の強化に努めている。(受験対策)
53	☐	難関大の過去問題(対策問題)を解いた。(受験対策)
54	☐	私大形式の問題に取り組んでいる。(受験対策)
55	☐	国公立大形式の問題に取り組んでいる。(受験対策)